

5連勝で横綱若ノ嶋とともによ優勝争いの先頭に立った照の王だったが、中日に白閃光に敗れて初黒星を喫した。



●(引き落とし)○照の王



白閃光○(引き落とし)●照の王

いよいよ今場所も終盤戦に突入。4横綱の直接対決が始まる見込みだったが、大神楽の休場により残りの3横綱のその分の対戦相手が平幕力士になりそう。

7戦全勝の若ノ嶋はどうやら前頭六枚目の照の王との対戦が組まれる見込み。入門前から「青木道場」で切磋琢磨して猛稽古に励んだライバルだけに、若ノ嶋にとっては待ちに待った対戦。両者の対戦は138回(2015年)以来9年振りの対戦となる。

若ノ嶋がライバル対決を制して優勝への歩みを進めるのか、それとも照の王が待ったをかけるのか?次の本場所(11月23日)の開催予定。乞うご期待! (錦風)

十両は西の富士が全勝、二差で独走

七日目まで終了し、全勝は西の富士ただ一人。五日目までもう一人全勝だった磯蛸は連敗で2敗に後退した。

「ここまで勝つ力士じゃないんだねえ」という春日根親方の言動とは裏腹に初日から7連勝と絶好調の西の富士。相手を押倒して勝ち方というほどではないのだが、駒波と勢いのある磯蛸を退け



駒波●(寄り切り)○西富士

た。先場所は東筆頭で5勝6敗と昇進を逃し臨んだ今場所何が変わったのかは謎だが、このまま白星を重ねればおそらく新入幕も見てくるだろう。

しかし、春日根部屋注目の力士は西の富士だけではない。他にも毎場所本命に挙げられる大石丸、玉乱、音柱が共に2敗で優勝争いに加わっている。

その西筆頭の大石丸は、このままだけ幕内昇進は順当と見られるが十両での優勝はまだ果たせていない。優勝を本土産に幕内へ駆け上げられるか、西の富士が突っ走っているだけに1敗も出来ないところ。玉乱と音柱ともに春日根勢による優勝争いになってくる公算大だ。

そこに割って入って行きたいのが2敗で追う駒波、磯蛸、黒夢心あたりか。駒波は十両に陥落したがここまで5勝2敗とまずまずの成績で幕内返り咲きを狙う。

磯蛸は5連勝から玉乱、西の富士に連敗し一歩後退。春日根勢の独走を許さない為にも終盤戦れるか正念場となる。

場所前の稽古総見では、まだ廻しがしっくり動けなかった黒夢心。日を追うごとに相撲内容もよくなり七日目の音柱との一番は立ち合いでうまく左土俵に入った黒夢心が正面勝負あり。これで十両残留にあと1勝どころか、西の富士の結果如何にもよるが優勝の可能性も見えてきた。



音柱●(寄り切り)○黒夢心

東筆頭の鹿麒麟が4勝目をあげて白星先行とした。角武蔵と大綱嵐を難なく寄り切った。これで五日目から3連勝で波に乗ってきたよがならな場所二枚目を7勝を上げながら昇進か、鹿賀乃戸親方もまずは勝ち越した。と鼻息は荒いがまだまだ安心は禁物だ。

残留争いが厳しさを増してきた下位勢では逆元春が白星を挙げることなく六日目で負け越し決定。七日目によやく片目が開いたが十両の地位を守るためには一つも負けられない。十両尻の虹ヶ谷も黒星先行となった錦風親方にとって2人の陥落は是非でも避けたところ。

西十枚目の生駒山も1勝6敗と苦しい星勸定となつて残り4日であと3勝しないと陥落となる危機。これまで九十九部屋では閑取で十両から陥落した力士はおらず、もし生駒山が幕下に落ちることになるようだと引退、九十九部屋継承という選択肢も出てくる。

幕下は錦風勢が圧倒

幕下で3連勝としたのは逆起、虎麒麟、逆青雲、栃尾山の4人。4人のうち3人が錦風部屋で幕下はほぼ錦風勢の優勝が決まりそうな展開になってきた。

十両を3場所務めたものの力を出し切れずに幕下に戻り切らずに逆起。しかし、幕下では睨みを利かせて3連勝で十両復帰を早々に決めた。

虎麒麟は警若を寄り切りで破り錦風勢の4強独占を辛うじて阻止。「3連勝が全員錦風の割担当の鹿賀乃戸親方。一角を崩した虎麒麟の勝利に取りあえず胸を撫で下ろした鹿賀乃戸さんだった。



逆起○(引き落とし)●巨鵬

そして残りの2人の3連勝が逆青雲と栃尾山の2人。先場所は三段目で共に5戦全勝の決定戦で対戦し栃尾山が制している。逆青雲もそこそこ強いのだが、栃尾山は七日目竜雲と右の差し合いで熱戦となつたが、最後は熱戦を差し入れ押し倒しを下した。



竜雲●(押し倒し)○栃尾山

だが錦風親方いわく「まだそんなに強いかわかんないよ」と栃尾山については謙遜するが、他の親方からの期待と評価は高く将来性が十分に見込まれる逸材であることは確かだ。逆青雲と共にこのまま全勝で行けば三段目の再来ということもありえそう。

新十両昇進をかける力士では、磯雷光と巨鵬が勝ち越しまであと1勝とした。下位では後がない番付の難波山が飛葉を寄り切ったが、留に望みをつないだ。残り連勝が必須だが、何とか幕下の地位を維持したいところだ。

三段目、序の口

三段目は今場所こそは優勝&幕下昇進を狙う伊勢の里が順当に3連勝。ほかには同門の強久根、若今津、石神が3勝を挙げている。

また、人気力士福笑がまさかの3連敗。周囲に衝撃を与えた。

序二段の3連勝はベテラン亀風、序の口から8連勝の逆本、関西勢の播場、手柄山。

なかでも加古川部屋の手柄山は親方期待の有望株。四日目の大松戸部屋の播場との全勝同士の関西対決が楽し

序の口でも大松戸部屋の大鳴門が3連勝。先般大松戸親方が練馬国技館に来訪以来、若手の活躍には目を見張るものがある。

他には実力部屋の清水山、諏訪が順当に3連勝としている。



大鳴門○(寄り切り)●桃花田



久保田●(寄り切り)○手柄山



如月●(寄り切り)○逆起